

東通原子力発電所におけるフィルター付格納容器ベント設備および免震重要棟の概要

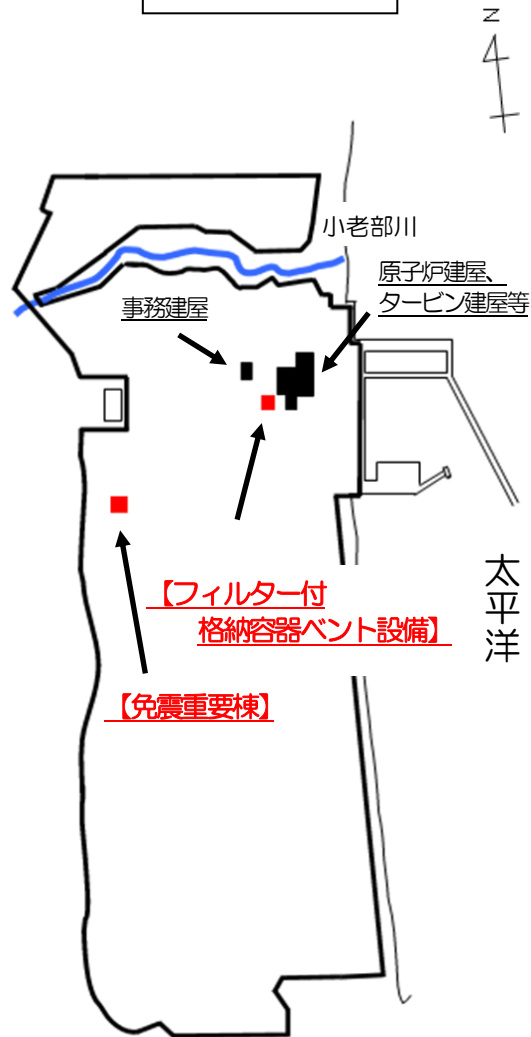
【フィルター付格納容器ベント設備】

- 原子炉格納容器の過度な圧力上昇に伴う破損を防止するために、格納容器内の蒸気を大気中に放出して圧力を低減させる際、万一、炉心が損傷した場合においても、フィルターを介して放射性物質の放出量を大幅に抑制する設備。

【免震重要棟】

- 大規模な原子力災害が発生した場合の現地対策本部となる指揮所（緊急時対策所）機能をより強化するための免震構造の建物。

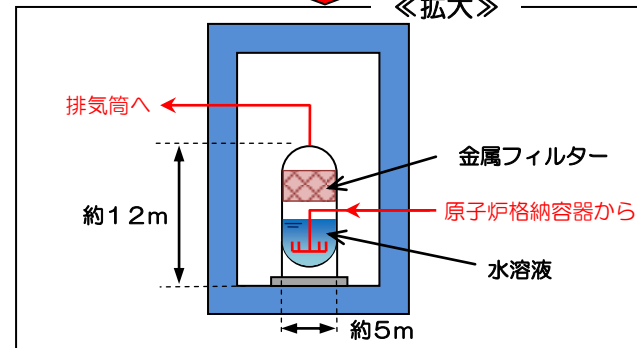
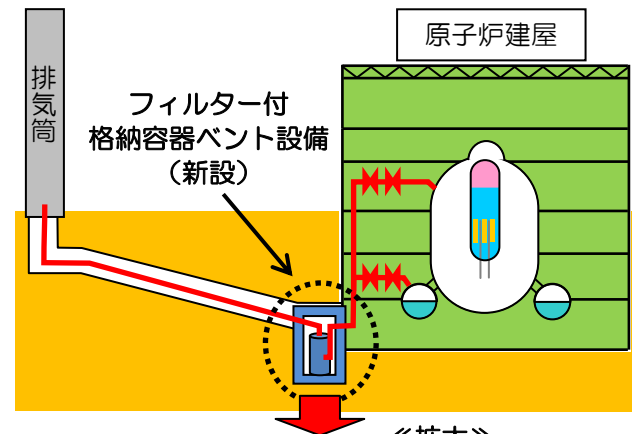
設置予定図



<フィルター付格納容器ベント設備の仕様概要>

- 本体の概略寸法：直径約5m×高さ約12m（円筒形）
- 設置数：1基
- 設置場所：地下ピット
- 地下ピットの概略寸法：幅約12m×長さ約15m×高さ約24m（地下ピットの埋設深さ約40m）
- 放射性物質の放出を直接放出時に比べ1/1000以下に抑制できる（ウェットウェルベントとの組み合わせにより、さらに抑制）
- 平成27年3月完成予定

《断面イメージ図》



<免震重要棟の仕様概要>

- 建物構造：免震構造、地上3階、延床面積約4200㎡
- 収容人数：約1000人（災害時対応人数260人）
- 設置場所：原子炉建屋から約800m離れた、高さT.P.約30mの敷地に設置
- TV会議システムや通信設備等を配備した大会議室
- 専用の非常用発電機
- 放射線遮へいを考慮した空調設備
- 平成28年3月完成予定

《完成イメージ》

